平成24年度感染症危機管理研修会
2012/10/18

2011-2012年の感染症トピックス（2）

旅行者感染症

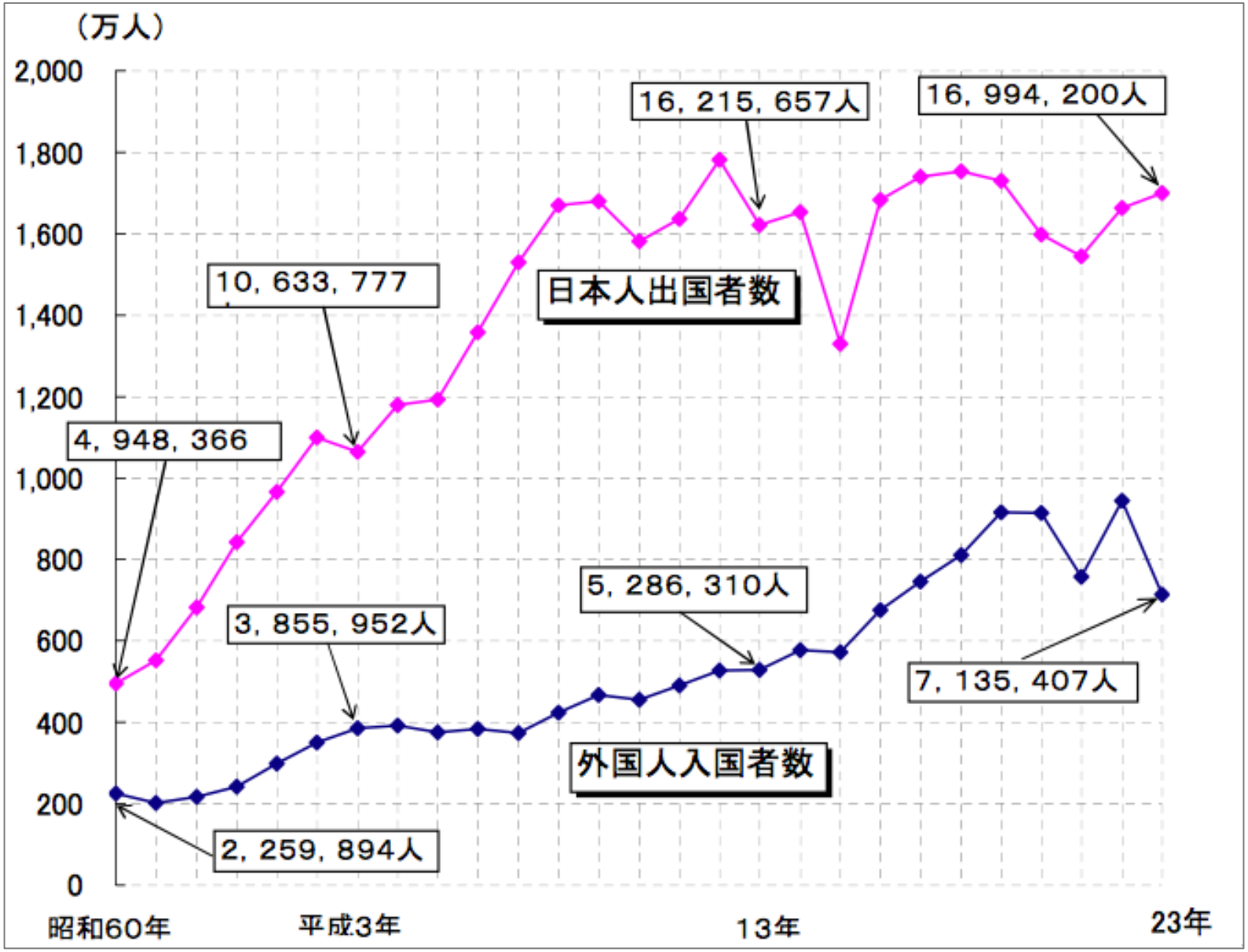
奈良県立医科大学　病原体・感染防御医学講座
同附属病院　感染症センター

中村（内山）ふくみ

本日の内容

- はじめに
- 旅行者感染症のアプローチ
  症例１･２･３･４
- まとめ

平成23年における外国人入国者数及び日本人出国者数



法務省入国管理局資料

国際支援の現場から

バックナンバー

エボラ出血熱の発生に緊急対応

2012年8月28日

国境なき医師団@エボラ出血熱

７月にエボラ出血熱が確認されたウガンダ西部キバレ県、ＭＳＦが支援にあたる病院

ＭＳＦはこれまでにも、ウガンダのほか、スーダン、コンゴ民主共和国などでエボラ発生に対応してきた（写真は２００７年、コンゴ民主共和国）

アフリカ中部のウガンダで７月２８日に、５年ぶりのエボラ出血熱の発生が政府によって確認されました。８月１０日までに１９人が死亡し、疑い例を含めた患者数は４２人と報告されています。国境なき医師団（ＭＳＦ）は確認後ただちに緊急対応チームを派遣し、治療と感染拡大防止に取り組んでいます。

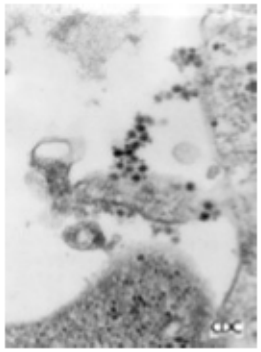
■ワクチンが存在しない、致死率の高い出血熱

ＭＳＦはこれまでにも、アフリカ中部の各地で散発的に発生するエボラ出血熱に対応する緊急援助を行ってきました。今回のウガンダでの発生を受けて、医療、疫学、給排水・衛生の専門家など、エボラを含む希少疾患への対応経験が豊富な計２６人からなる、緊急対応チームを派遣しました。

http://www.asahi.com/international/shien/TKY201208270295.html

米国で猛威ふるうウエストナイルウイルスの危険性と日本脳炎

nikkei TRENDYnet 9月7日(金)11時4分配信 http://zasshi.news.yahoo.co.jp/article?a=20120907-00000005-trendy-bus_all



海外出張も多いビジネスパーソンが特に注意しておきたいのが、2012年8月下旬から話題を集めているウエストナイルウイルス。米疾病対策センター(CDC)の統計で、この夏の米国におけるウエストナイルウイルス(西ナイルウイルス)の流行が、過去最大規...

30代、40代のビジネスパーソンを中心に、糖尿病や高血圧、メタボ、皮膚トラブルなどについて専門家に解説をしてもらう連載。今回は、2012年8月下旬から話題を集めているウエストナイルウイルスについてです。米疾病対策センター(CDC)の統計で、この夏の米国におけるウエストナイルウイルス(西ナイルウイルス)の流行が、過去最大規模であることが発表され、その報道を見た人も多いでしょう。果たしてウエストナイルウイルスとは一体何か。どんな危険性があるのか。ナビタスクリニック川崎・自治医科大学附属病院 感染症科 法月正太郎先生に解説してもらいます。

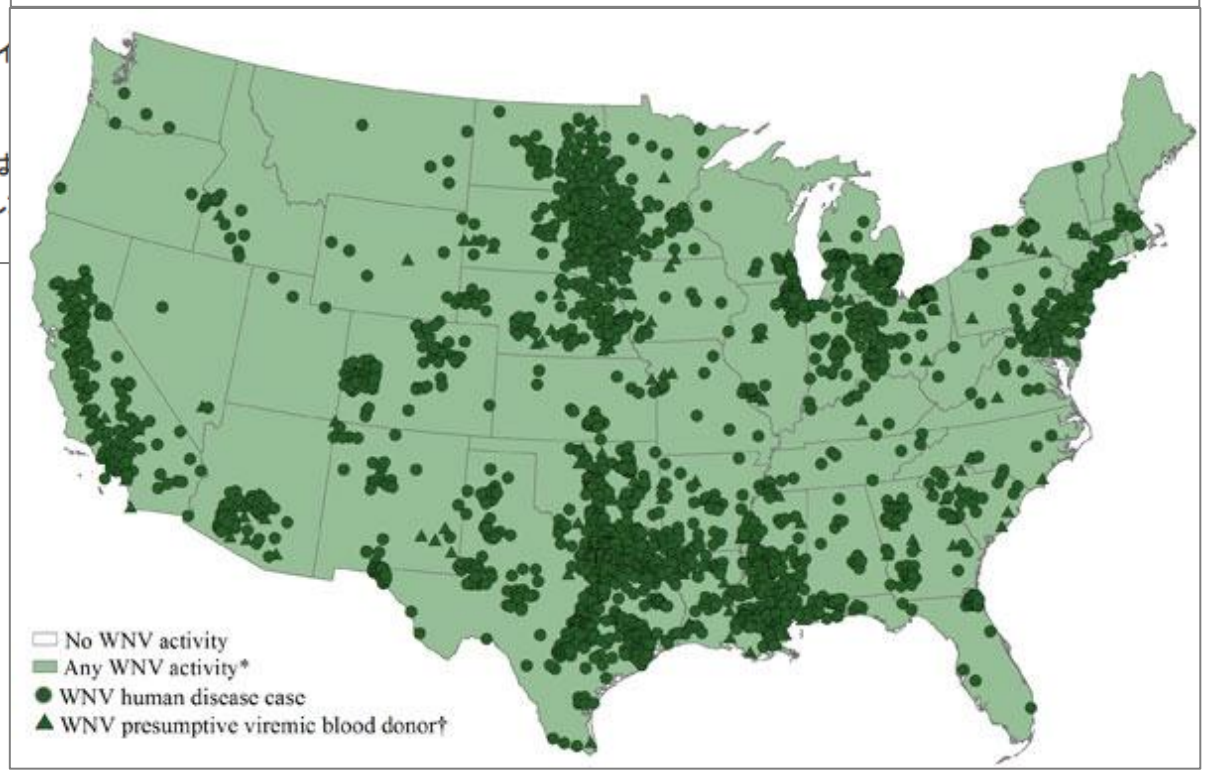
【詳細画像または表】

米国出張を控えているビジネス

今、米国ではウエストナイルウイ
るっています。

米国疾病対策センター(CDC)は
名の死者を含む1590人がウエストナイルウイルスに感染し
2002、2003年の流行と同程度であるとも言われています。

West Nile virus (WNV) activity reported to ArboNET, by state, United States, 2012 (as of September 25, 2012)



http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/Maps activity/surv&control12MapsAnybyState.htm

ヨセミテ公園で２人感染死＝ハンタウイルス肺症候群ー米

【ロサンゼルスＡＦＰ＝時事】米カリフォルニア州中部のヨセミテ国立公園で観光客がネズミのふんなどを介したウイルスに感染し、米国立公園局によれば、２８日までに２人が死亡した。６月に同公園を訪れた他の２人も感染が疑われており、国立公園局は注意を呼び掛けている。

同局によると、２人の死因はネズミのふんや尿を介したウイルスに感染したことで発症する「ハンタウイルス肺症候群」。６月中旬以降にヨセミテ国立公園カリー・ビレッジにある宿泊所「シグネチャー・テント・キャビンズ」に泊まった観光客に感染の恐れがあるとして「症状が表れればすぐ病院での受診を勧める」と訴えている。

ハンタウイルス肺症候群は１９９３年に初めて確認されて以降、全米で５８７件の症例が報告されており、感染者の３割が死亡した。（2012/08/29-06:14）

http://www.jiji.com/jc/zc?k=201208/2012082900078

ＳＡＲＳに似た新型ウイルス、カタール人男性から発見＝ＷＨＯ

2012年 09月 24日 09:33 JST

記事を印刷する | ブックマーク | 1ページに表示　[−] 文字サイズ [+]

おすすめ 55　ツイート 37　チェック　+1 3

1 of 1　[Full Size]

トップニュース

- 米「財政の崖」、13年に5000億ドル分の増税も＝調査
- 豪中銀が予想外の25bp利下げ：識者はこうみる
- 補正予算の判断は時期尚早＝城島財務相

［ロンドン　２３日　ロイター］　世界保健機関（ＷＨＯ）は２３日、２００２年に死者約８００人を出したＳＡＲＳ（重症急性呼吸器症候群）ウイルスに似た新型のウイルスを発見したと明らかにした。

このコロナウイルスは、最近サウジアラビアを訪問した４９歳のカタール人男性の患者を検査して見つかったという。ＷＨＯは「新規コロナウイルスであり、公衆衛生に及ぼす影響を見極めるため、さらなる情報収集のプロセスを進めている」としている。

２００２年に中国で発生したＳＡＲＳ

http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPTYE88N00620120924

情報源

FORTH 海外で健康に過ごすために

サイト内検索 Google™カスタム検索 検索

FORTHについて　サイトマップ

トップページ | 新着情報 | 国・地域別情報 | お役立ち情報 | リンク | 医療関係者

FORTH（フォース）ホームページへ ようこそ！

FORTH（For Travelers' Health）ホームページでは、海外へお出かけになる皆様が健康に過ごしていただけるように、海外で流行している感染症などの情報提供を行っています。

渡航先はどちらですか？

渡航先をお選びください

調べたい地域をクリックしてください。

動物と一緒の渡航について

業務報告書

情報提供フォーム

皆様からの情報を募集しています

お知らせ

- コンゴ民主共和国のエボラ出血熱について（2012年9月28日）
- 英国で確認された新たなコロナウイルス感染症について（2012年9月26日）

旅行と病気

- 旅行前には診察を受けよう
- 予防接種について
- マラリアについて
- 海外勤務者の皆さまへ

黄熱について（接種機関を含む）

海外渡航者向けの予防接種実施機関（検索）

新着情報

鳥インフルエンザの流行について
インドネシアで鳥インフルエンザの患者が発生しました。(2012年08月13日)

黄熱の流行について
ペルーで黄熱の患者が発生しています。(2012年02月29日)

デング熱の流行について
インドでデング熱が流行しています。(2012年09月18日)

その他の流行について
新種のコロナウイルス感染症について（更新1）(2012年10月01日)

http://www.forth.go.jp/

情報源

http://www.who.int/csr/don/en/index.html

World Health Organization

Health topics | Data and statistics | Media centre | Publications | Countries | Programmes and projects | About WHO

Search | Advanced search

GAR Home
Alert & Response Operations
Diseases
Global Outbreak Alert & Response Network
Biorisk Reduction

Global Alert and Response (GAR) >

http://wwwnc.cdc.gov/travel/

CDC Home

Centers for Disease Control and Prevention
CDC 24/7: Saving Lives. Protecting People.™

A-Z Index A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z #

Travelers' Health

Hot off the press! Explore T
Health with the new 2012
Yellow Book!

See Travelers' Health site FAQ and Use
Links.

Travelers' Health Topics

Destinations
Health information for travel to over 2
international destinations

Vaccinations
General information about vaccination
travel

Diseases
Diseases related to travel, including
malaria and yellow fever

Illness & Injury Abroad
Prepare for your trip

News & Announcements

New! Emergency Message for US Cit

http://www.promedmail.org/

ProMED-mail
International Society for Infectious Diseases

MAKE A DONATION | SUBSCRIBE

About ProMED | Submit Info | Announcements | Links | Calendar of Events

ProMED-mail | Português | Español | Русский | Mekong Basin | Afrique Francophone | Anglophone Africa

ProMED-mail
About ProMED-mail»

Latest | Search | Plants | Hot Topics

Latest Posts on ProMED-mail

11 Sep 2012 **Poliomyelitis - worldwide (07): Nigeria, global update**
11 Sep 2012 E. coli EHEC- UK (04): (Scotland) O157
11 Sep 2012 Brucellosis - Mexico (02): (MC)
11 Sep 2012 Koi herpesvirus disease - UK (02): (England)
11 Sep 2012 Newcastle disease, wild birds - USA (02): (MN)
11 Sep 2012 Dengue/DHF update 2012 (41) Asia
11 Sep 2012 Epizootic hemorrhagic disease, cervids - USA (14): resources
10 Sep 2012 Dengue/DHF update 2012 (40) Americas
10 Sep 2012 West Nile virus - USA (15)
10 Sep 2012 Hantavirus update 2012 - Americas (32): USA (CA)
10 Sep 2012 Hepatitis C - UK (02): Scotland (Tayside)
10 Sep 2012 Avian influenza (53): Viet Nam, H5N1 virus evolution
10 Sep 2012 Hepatitis B & C - Australia: liver cancer increase
10 Sep 2012 Amebic meningoencephalitis, primary - Viet Nam (02): (PY) comment
10 Sep 2012 Anthrax, human - UK (07): (England) fatal
10 Sep 2012 Lassa fever - Nigeria (09): (LA) alert
10 Sep 2012 Equine infectious anemia, equine - Canada (04): western

ProMED-mail alerts on HealthMap

ASIA

Most Recent Alert

View printable version Share this post:

Published Date: 2012-09-11 16:02:52
Subject: PRO/EDR> Poliomyelitis - worldwide (07): Nigeria, global update
Archive Number: 20120911.1290030

POLIOMYELITIS - WORLDWIDE (07): NIGERIA, GLOBAL UPDATE
****
A ProMED-mail post
http://www.promedmail.org
ProMED-mail is a program of the
International Society for Infectious Diseases
http://www.isid.org

In this update:

[1] Nigeria

[2] Global update as of 5 Sep 2012

******

[1] Nigeria

Date: Tue 11 Sep 2012
Source: AllAfrica, Daily Trust report [edited]
http://allafrica.com/stories/201209110805.html

本日の内容

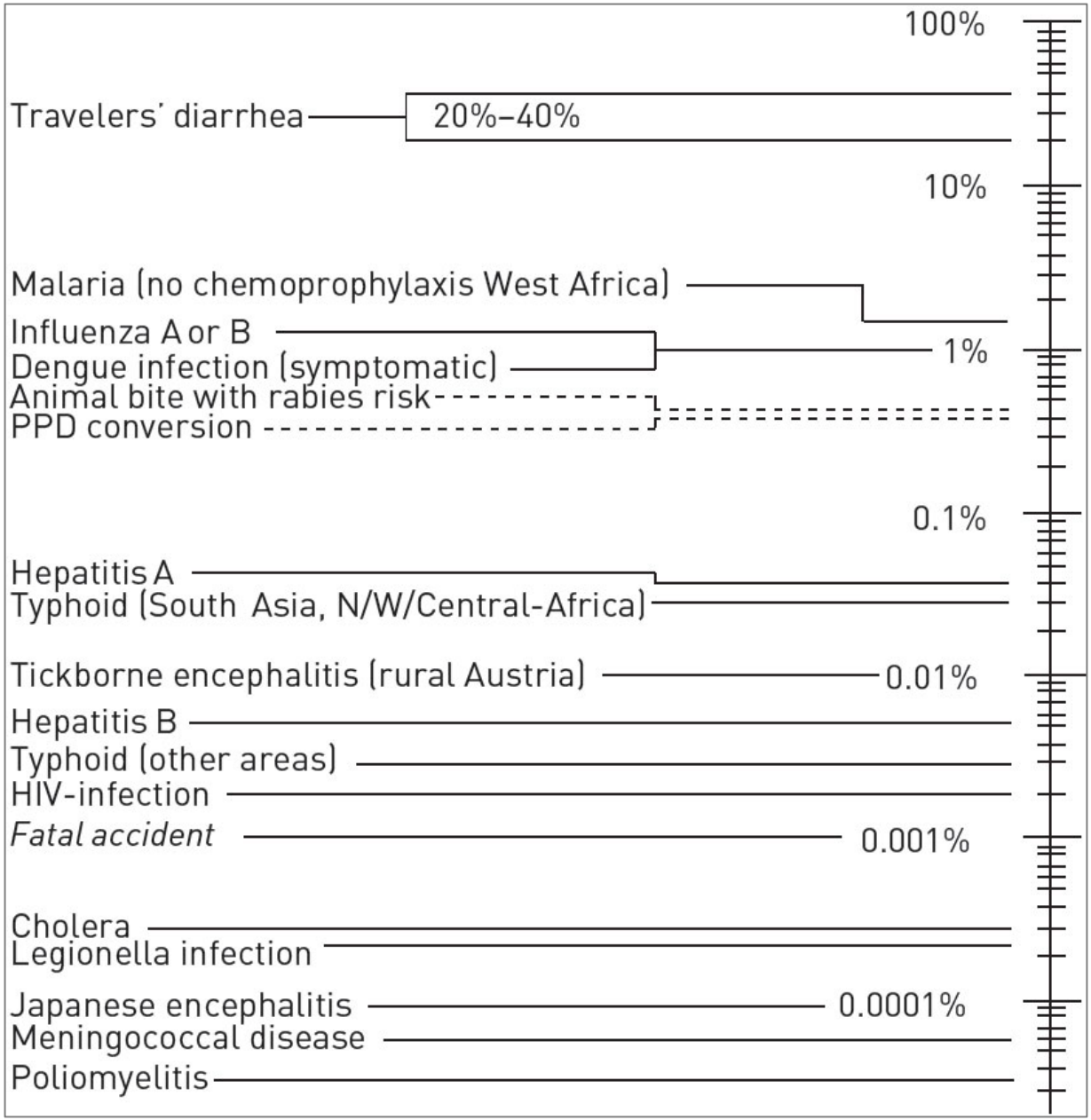
- はじめに
- 旅行者感染症のアプローチ
  症例1・2・3・4
- まとめ

旅行者疾患サーベイランス
頻度の高い症状

1. 下痢（急性）
2. 下痢（慢性）
3. 発熱
4. 皮膚症状

Freedman DO et al. NEJM 354, 2006.

Estimated incidence rate per month of infections and fatal accidents among travelers in developing countries, 2010



2012 Yellow Book

旅行者下痢症
「海外、特に発展途上国への旅行に関連した感染性の下痢症」

症状	潜伏期間	主な病原体
下痢 （±発熱）	短い（1週間以内）	毒素原性大腸菌、サルモネラ、赤痢菌、ビブリオ、カンピロバクター、プレシオモナスなど
	比較的長い・長い （1～2週間またはそれ以上）	赤痢アメーバ、クリプトスポリジウム、ジアルジア、回虫、鉤虫、糞線虫、条虫など

- 病原体：
  細菌性　85%　原虫性　10%　ウイルス性　5%

- 特徴：
  ウイルス性　潜伏期・症状の持続期間　数日　軽症例
  細菌性　　1週間程度の潜伏期　軽症～重症までさまざま
  寄生虫性（原虫・蠕虫）　10日以上の症状の持続

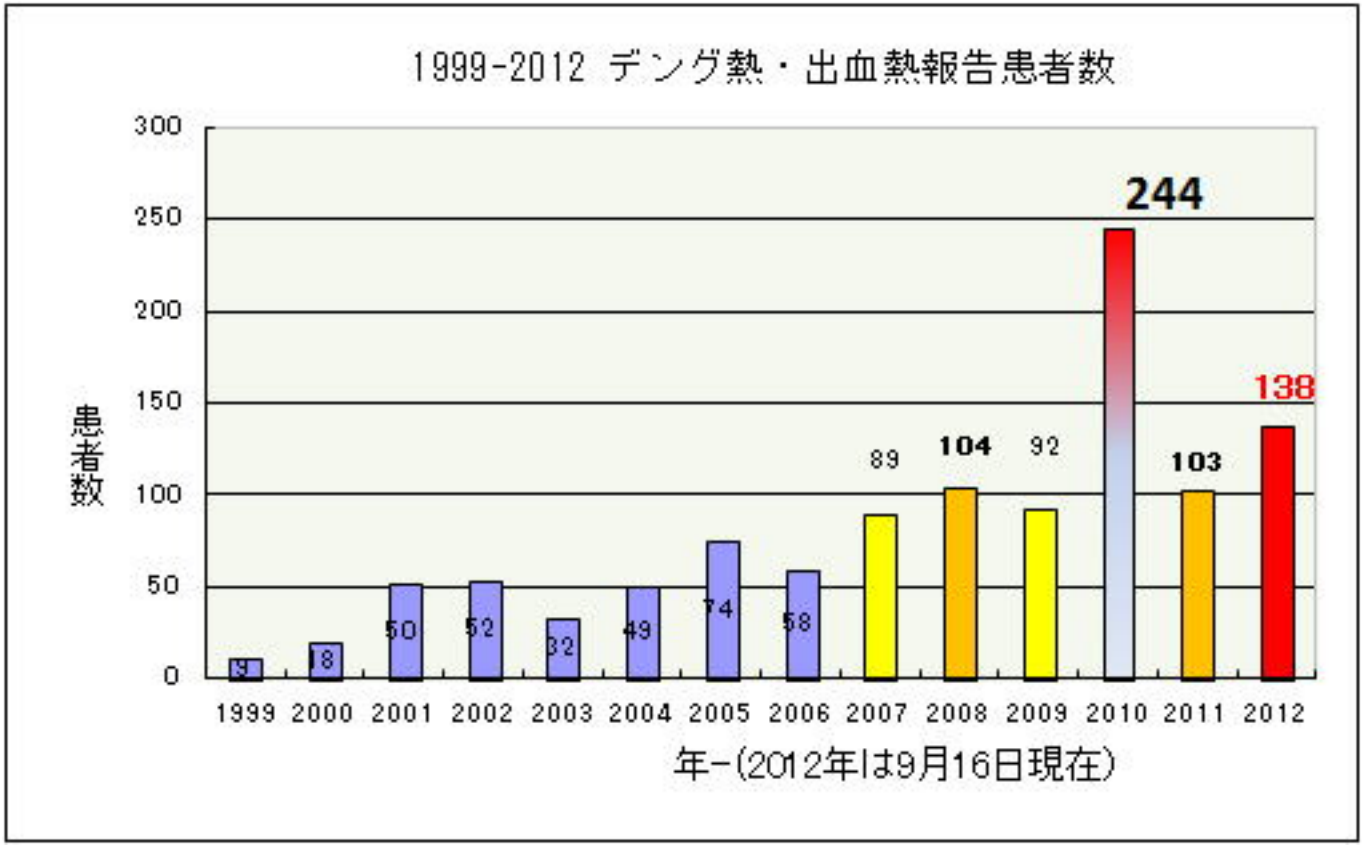
- 20%の患者に複数の病原体が確認される

旅行者疾患サーベイランス
頻度の高い症状

1. 下痢（急性）
2. 下痢（慢性）
3. 発熱
4. 皮膚症状

Freedman DO et al. NEJM 354, 2006.

症例1



2012年8月26日に昨年の患者数を上回りました

IASR

＜速報＞　チクングニア熱の輸入症例—千葉市

(掲載日　2012/8/7　一部修正　2012/9/5)

IASR

＜速報＞　チクングニア熱のカンボジアからの輸入例—福岡市

(掲載日　2012/8/15　一部修正　2012/9/5)

IASR

＜速報＞　フィリピンから帰国後に発症し確認されたチクングニア熱輸入症例—千葉県

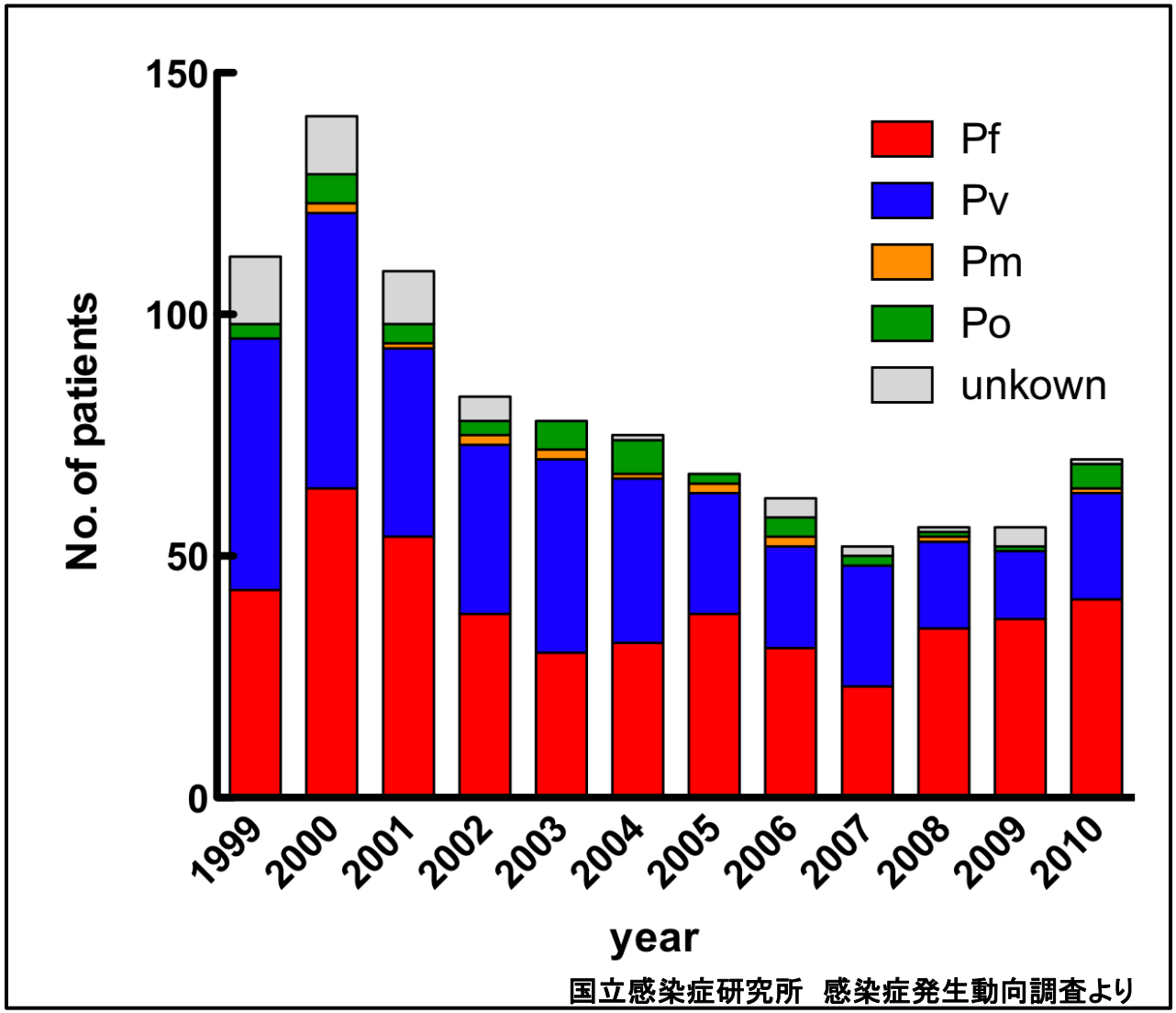
(掲載日　2012/8/21　一部修正　2012/9/5)

2012年			
輸入症例報告数	感染推定地	発病月	報告地
1	パプアニューギニア	6	神奈川
2	カンボジア、タイ	7	千葉(詳細へ)
3	カンボジア	7	福岡(詳細へ)
4	フィリピン	7	千葉(詳細へ)

http://www0.nih.go.jp/vir1/NVL/NVL.html

症例２

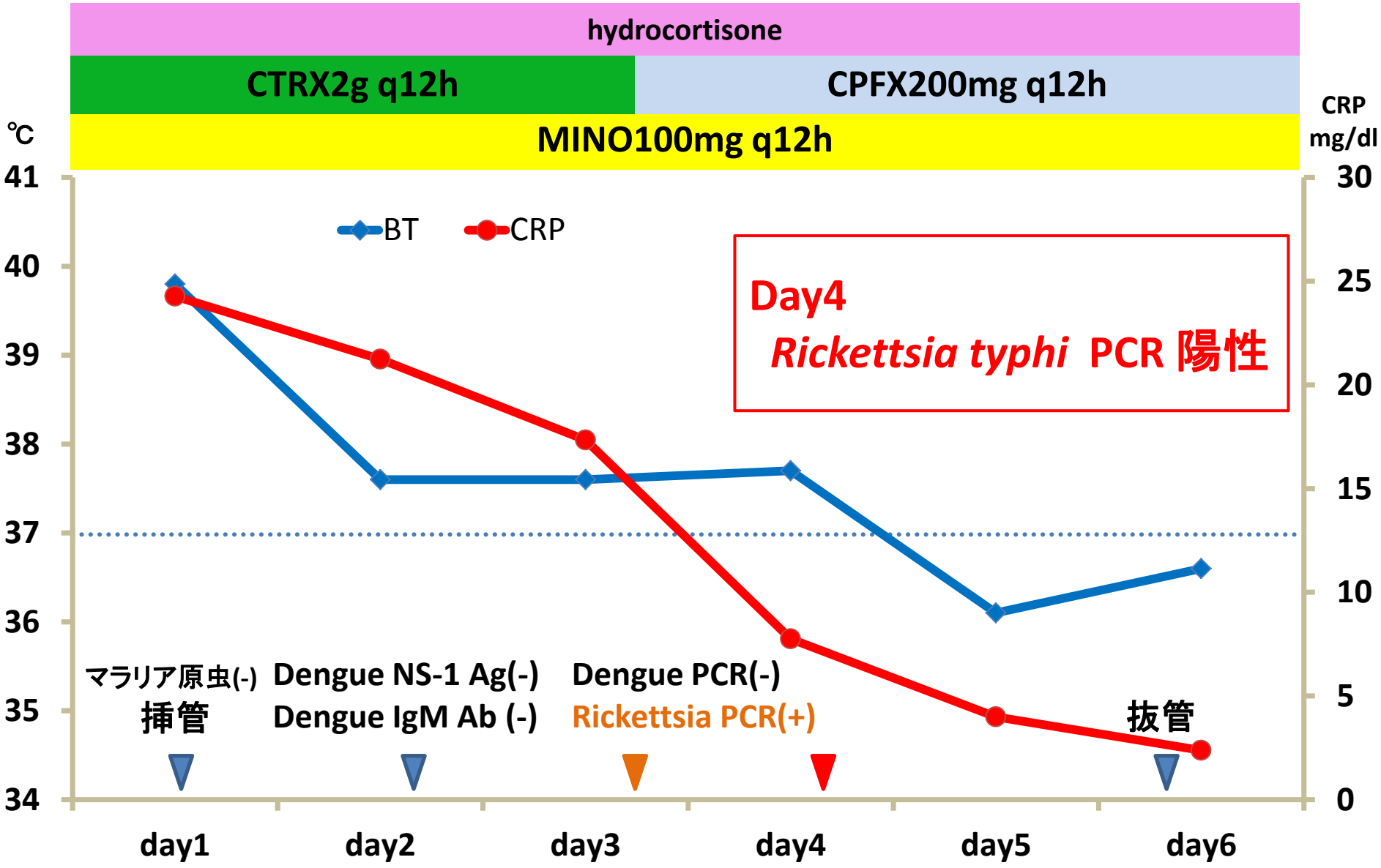
マラリアの年別報告数


150
100
50
0
No. of patients
Pf
Pv
Pm
Po
unkown
1999
2000
2001
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
year
国立感染症研究所　感染症発生動向調査より

熱帯熱マラリアを見逃すな

症例3

【入院後経過】


hydrocortisone
CTRX2g q12h
CPFX200mg q12h
MINO100mg q12h
℃
CRP mg/dl
41
40
39
38
37
36
35
34
30
25
20
15
10
5
0
BT
CRP
Day4
Rickettsia typhi PCR 陽性
マラリア原虫(-)
挿管
Dengue NS-1 Ag(-)
Dengue IgM Ab (-)
Dengue PCR(-)
Rickettsia PCR(+)
抜管
day1
day2
day3
day4
day5
day6

症例4

マレーシアから帰国後、発熱・発疹を主訴に受診した30代男性

答え：伝染性紅斑

コモンな疾患の鑑別も忘れずに

本日の内容

- はじめに
- 旅行者感染症のアプローチ
  症例1・2・3・4
- まとめ

渡航者の発熱の原因（有症状者1000人あたり）	
原因が判明	594
マラリア	352
デング熱	104
伝染性単核球症（EBV, CMV）	32
リケッチア感染症	32
腸チフス・パラチフス	29
原因が不明	406

Freedman DO et al. NEJM 354, 2006

代表的な輸入感染症の症状

マラリアの症状[a)]（%）	
発熱	100
頭痛	100
衰弱	94
夜間盗汗	91
不眠	69
関節痛	59
筋肉痛	56
下痢	13
激しい腹痛	8

デング熱の症状[b)]
発熱
後眼窩痛
関節痛
筋肉痛
不眠
倦怠感
悪心・嘔吐

腸チフスの症状[c)]（%）	
発熱	100
頭痛	62
下痢	59
腹痛	44

a) Jelinek T et al. J Travel Med 1, 1994. 160人のドイツ人旅行者

b) Rajapakse S et al. Infect Drug Resist 5, 2012

c) Clark TW et al. J Infect 60, 2010. 61人のイギリス人旅行者

リケッチア症の症状・所見

ツツガムシ病[a)]（%）	
発熱	100
頭痛	100
発疹	50
刺し口	55
リンパ節腫大	85
脾腫	43

日本紅斑熱[b)]（%）	
発熱	100
頭痛	80
発疹	100
刺し口	90
悪寒	87
倦怠感	90

発疹熱[c)]（%）	
発熱	98–100
頭痛	41–90
発疹	20–80
関節痛	40–77
肝腫大	24–29
咳	15–40
下痢	5–40
脾腫	5–24
悪心・嘔吐	3–48
腹痛	11–60
混迷	2–13

刺し口は特徴的
その他は非特異的

a) Nachega JB, J Travel Med 14, 2007

b) Mahara H, EID 3, 1997

c) Civen R, CID 46, 2008

問診が大事

❖渡航先

国、都市部・田舎、高地、季節、雨季・乾季

❖渡航期間

❖目的

仕事、観光、バックパック、VFR

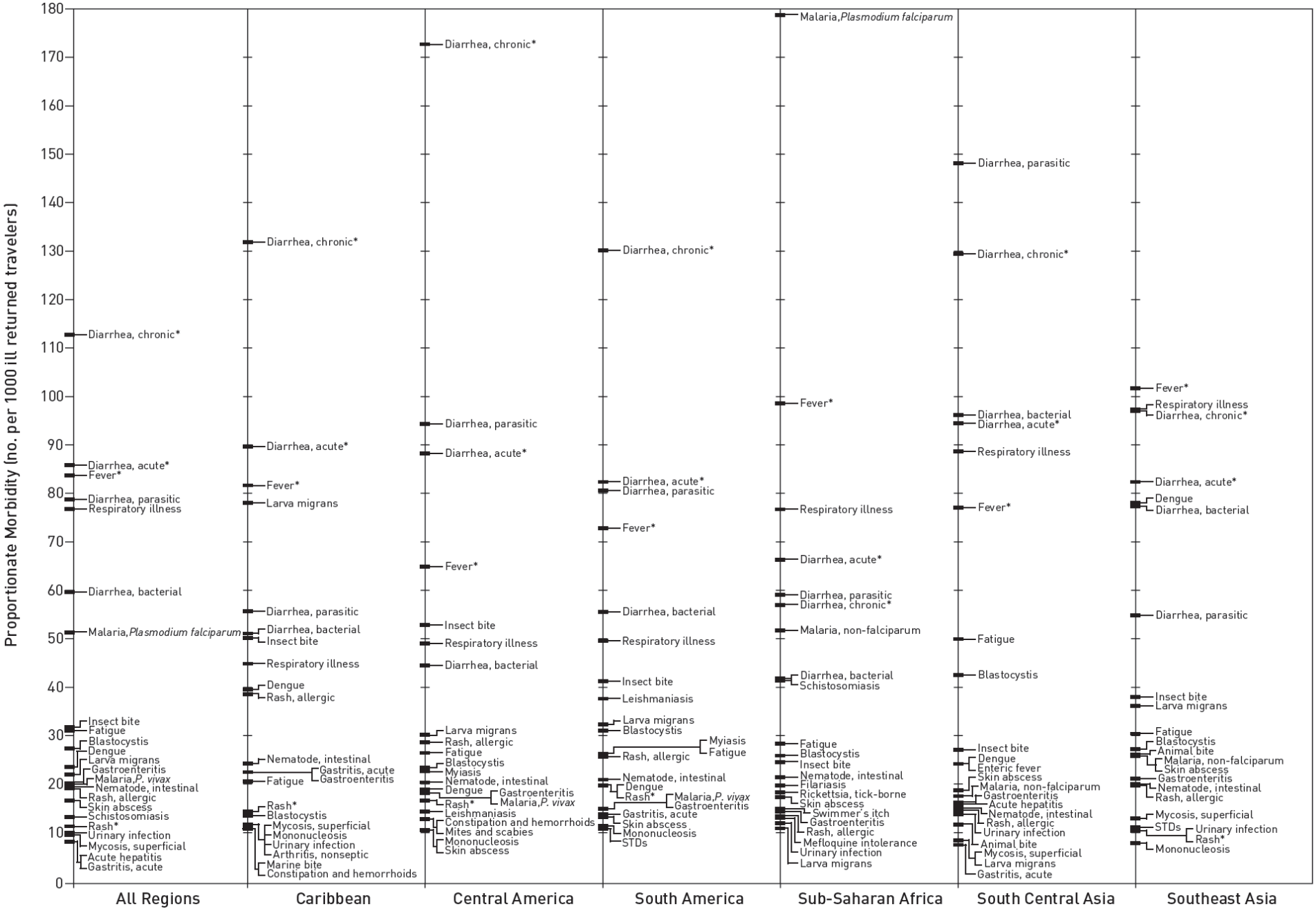
❖現地での生活状況

宿泊施設、服装、食事、アクティビティー、

動物との接触、sexual contact、sick contact

❖予防

トラベラーズワクチン、マラリア予防内服



2012 Yellow Book

潜伏期間

Short（<10日）	Medium（11-21日）	Long（>30日）
マラリア インフルエンザ アルボウイルス感染症 （デング熱、黄熱など） ペスト 腸チフス・パラチフス African tick bite fever ロッキー山紅斑熱	マラリア ウイルス性出血熱 腸チフス ツツガムシ病 Q熱 回帰熱 トリパノソーマ病 ブルセラ症 レプトスピラ症	マラリア ウイルス性肝炎 住血吸虫症 リーシュマニア症 アメーバ性肝膿瘍 結核 フィラリア症 急性HIV感染症

Leggat PA. Aust Fam Physician 36, 2007

発熱以外に所見は？

理学所見	考えられる感染症
発疹	デング熱、腸チフス、リケッチア感染症、梅毒、淋菌、エボラ出血熱、ブルセラ症
黄疸	急性肝炎、マラリア、黄熱、レプトスピラ症、回帰熱
リンパ節腫脹	リケッチア感染症、ブルセラ症、デング熱、急性HIV感染症、ラッサ熱、リーシュマニア症
肝腫大	アメーバ症、マラリア、腸チフス、急性肝炎、レプトスピラ症
脾腫	マラリア、回帰熱、トリパノソーマ、腸チフス、ブルセラ症、カラアザール、チフス、デング熱
刺し口（eschar）	リケッチア感染症、ボレリア、クリミアコンゴ出血熱
出血傾向	デング熱、髄膜炎菌感染症、ウイルス性出血熱、黄熱、ロッキー山紅斑熱

Leggat PA. Aust Fam Physician 36, 2007

Take Home Message

旅行者感染症のアプローチ

- ✓ 流行の最新情報を把握する
- ✓ 問診・潜伏期間・身体所見から鑑別を挙げる
- ✓ マラリア／デング熱／腸チフス・パラチフス
- ✓ 忘れてはならないリケッチア症
- ✓ 渡航に関連する疾患＋コモンな疾患